

## 令和3年 第3回 定例会報告! 区民の命と暮らしを守るために全力!

令和3年第3回定例会は、9月21日(火)から10月28日(木)の会期で開かれました。区議会公明党からは、代表質問で佐々木勇一議員、一般質問で太田公弘議員がそれぞれ登壇致しました。主な質疑内容は以下の通りです。

### Q 新型コロナウイルス感染症対策について。

- A
- ① 自宅療養者については、増床した病床や酸素ステーション等を活用し、安心な医療体制を構築していきたい。
  - ② 今後のワクチン接種については、希望者の9割が接種完了となる体制で取り組んでいく。
  - ③ PCR検査については、必要な方がしっかり検査できるよう東京都と相談していく。
  - ④ コロナ禍を受けた区民の経済活動の活性化に向けては、各業界の声を聴き、臨機応変に対応していく。

### Q 新庁舎建設について、区民や職員にとって利便性が高く、感染症を含む災害に強い庁舎には、どのような機能が必要と考えるか。

- A
- レイアウトに可変性を持たせ、柔軟に対応できる災害にも強い庁舎を目指したい。

### Q ひきこもり対策について。

- A
- 相談室やセンター、担当課の設置等、支援体制の拡充については、大規模実態調査結果を踏まえ検討していく。

### Q 多胎児家庭への支援の拡充について。

- A
- 今回、ベビーシッター利用支援事業等の支援策を提案している。

### Q 児童・生徒の通学路の安全対策について、どのように取り組んでいくのか。

- A
- ① 区・教育委員会、警察等が連携し、地域の皆さんの協力も得ながら、取り組んでいく。
  - ② 子どもたちの安全安心を確保するため、今後も課題解決に向け、迅速な対応を行っていく。

### Q 医療的ケア児の支援について本区の取り組みは？

- A
- ① 情報発信については、区のホームページに医療的ケア児に関する項目を設け、「ぴよナビえどがわ」とリンクをする予定。
  - ② 医療的ケア児コーディネーターを設置し、ライフステージに応じた支援体制の充実に繋げる。
  - ③ 医療的ケア児支援関係機関連携会議については、状況を把握しながら連携強化に努めている。
  - ④ 保育園の受け入れについては、医療資源を最大限に活用するなど、受け入れ体制の検討を行っている。
  - ⑤ 医療的ケア児の就学については、児童・生徒の安全を第一に、関係機関と綿密な連携を図りながら、丁寧に進めている。

### Q 認知症あんしん検診の対象年齢を65歳以上に拡大し、2歳刻みではなく毎年実施を。

- A
- 実績を見て結果を分析し、医師会の意見も踏まえ、効果的な実施に向け研究していく。

## 決算特別委員会報告



決算特別委員会(9月30日から10月14日までの8日間)には、田中淳子議員、中道 貴議員、関根麻美子議員、所 隆宏議員(副委員長)、佐々木勇一議員が審査に臨み、令和2年度各会計決算を認定するとともに、様々な課題について、区執行部への質問や要望を行いました。以下に一部を抜粋し紹介します。

- 介護人材の確保と定着を図るため、各種の費用助成や奨励金の更なる充実を。
- 災害時避難行動要支援者対策において、危機管理部の防災スキルを福祉・健康部と共有し、実効性ある福祉避難が行われること。

- 共育プラザについて、不登校や高校中退者等への支援の全館実施と葛西南部地域への新設を。
- SDGsの観点からも農福連携型の農園の設置を。
- 産後ケアについて、相談体制の充実に向けてオンライン相談の導入を。
- フードドライブ常設のエコセンターの周知や場所の拡充、福祉との連携の仕組みづくりを。
- 女性デジタル人材の育成を推進するべき。
- 児童相談所体制の充実を図るため、専門員・職員の育成と更なる地域密着の推進を。
- GIGAスクール構想の1人1台端末については、授業での活用とオンライン配信を更に進めること。
- 学校図書館司書の全校配置と蔵書管理を有効に進めるためのバーコード導入を。

### 23区初! 次代を担う子どもたちに区の未来へ発信の機会を! 「江戸川区SDGs中学生議会」を開催しました

区立中学校全33校から代表として一人ずつ選ばれた中学生が、SDGsの視点を通じて、自分たちには何が出来るかを考え、「ごみの分別の仕方を周知するため、専用のアプリを作ってはどうか」「食品ロスを避けるため、店で注文した料理を食べきったらポイントを付与したらどうか」等々質問や提案をしました。斉藤猛区長は「検討に値するので、ぜひ皆さんと一緒に考えていきたい」等と答弁しました。

(11月6日14時～ 区議会本会議場)



### 江戸川区SDGsオリジナルシンボルマークについて



「花火」「観覧車」「小松菜」「人の和」をモチーフに、「ともに生きるまち」をめざして広がり、つながっていく共生社会を描いています。

ご意見・ご要望はこちらへ!

TEL:03-5662-5112 / FAX:03-3674-5860



佐々木 勇一



所 隆宏



太田 公弘



窪田 龍一



堀江 創一



関根 麻美子



伊藤 照子



中道 貴



竹内 進



田中 淳子



川瀬 泰徳